

# USB 2.0 PORTABLE HARD DISK UNIT

LHD-PBBU2シリーズ  
LHD-PBHU2シリーズ  
LHD-PBMU2シリーズ

HDユニット

ユーザーズマニュアル

**Logitec**

# 目次

取扱い上のご注意 .....	1
廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意 .....	4
付属品の確認 .....	5
ごあいさつ .....	6
ご注意 .....	6
<b>第1章 製品のご紹介 .....</b>	<b>7</b>
1.1 製品概要 .....	7
1.2 各部の名称と機能 .....	9
1.3 使用環境について .....	11
1.4 接続の前に .....	12
<b>第2章 製品の使い方 .....</b>	<b>15</b>
2.1 接続について .....	15
2.2 動作の確認 .....	16
2.3 本製品の取り外しについて .....	17
<b>第3章 ドライバのインストール .....</b>	<b>19</b>
3.1 Windows 98 の場合 .....	19
3.2 Mac OS 8.6 の場合 .....	21
<b>第4章 ハードディスクのフォーマット .....</b>	<b>23</b>
4.1 Windows XP, 2000 でのフォーマット手順 .....	23
4.2 Windows Me, 98 でのフォーマット手順 .....	24
4.3 Mac OS X でのフォーマット手順 .....	26
4.4 Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順 .....	27
4.5 Mac OS 8.6 でのフォーマット手順 .....	28
<b>第5章 パスワードの設定 .....</b>	<b>30</b>
<b>第6章 補足事項 .....</b>	<b>35</b>
6.1 トラブルシューティング .....	35
6.2 AC アダプタを使用する際の注意点 .....	37
6.3 USB 補助電源ケーブルを使用する際の注意点 .....	38

## 取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



**注意**

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

## 警告

万一、異常が発生したとき。

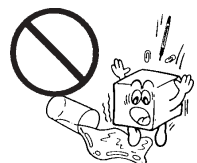
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにUSBケーブルをパソコンから取り外すか、またはACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で使用してください。

ACアダプタを使用する場合は必ず弊社純正のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



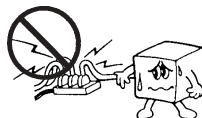
ケーブル類を大切に。

USBケーブルまたは別売りのACアダプタのケーブルは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



## 注意

ACアダプタを使用する場合は、なるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



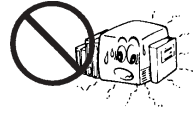
ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



## 注意

---

本体の周りを本などで覆わないで下さい。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



背面のホールにアクセサリ類を取付けた場合、引っ張ったり、振り回したりしないで下さい。振動によるデータ消失の原因となります。



### Windows 環境でご使用の際のご注意

---

当社 DOS/V 対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

---

## 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

## ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式（ ）により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ（<http://www.logitec.co.jp>）をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。

（技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社      ロジテックサポートソリューション

データ消去サービス係    5番受入窓口

TEL : 0265-74-1423 / FAX : 0265-74-1403

## 参考

付属の「LogitecWare」CD-ROM内に収録されている、「ディスクデータイレサ」（Windows環境のみ）を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去する事ができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

## 付属品の確認

### 全シリーズ共通

HD ユニット .....	1 台
USB ケーブル ( USB 2.0 High-Speed 対応 : 70cm ).....	1 本
「LogitechWare」 CD-ROM .....	1 枚
保証書 .....	1 枚
HD ユニット・ユーザーズマニュアル .....	本書

### LHD-PBHU2 シリーズのみ

USB 補助電源ケーブル .....	1 本
--------------------	-----

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

# ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

\* MS<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。



## 1.1 製品概要

本製品はバスパワーによる駆動が可能な USB 2.0 High-Speed 対応ポータブルタイプ外付型ハードディスクユニットです。

### 本製品の特徴

バスパワーに対応し、パソコンの USB ポートより直接電源の供給を受けます。AC アダプタを接続する必要がありませんのですっきりと収納できます。

内蔵されているハードディスクには、LHD-PBMU2 シリーズは 1.8 型 4200rpm のものを、LHD-PBBU2 シリーズには 2.5 型 4200rpm のものを、LHD-PBHU2 シリーズには 2.5 型 5400rpm のものを、それぞれ採用しています。

USB 2.0 ポートにつなぐことによって、USB 2.0 の High-Speed の高速転送 (480Mbps : 理論値) を実現することが可能です。また従来の USB 1.1 ポートにも接続ができるので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

「パスワードロック機能」が搭載されています。HD ドライブ自身にパスワードによるロック機能を設け、HD ユニットの盗難や紛失などからデータの漏洩を防止します。(詳しくは第 5 章をご参照ください)

下表のように、コンパクトサイズのアルミボディに大容量ハードディスクを搭載。持ち運びに最適です。

シリーズ名	サイズ (幅 × 奥行き × 高さ)
LHD-PBMU2シリーズ	75.9 × 97 × 14.9 mm
LHD-PBBU2シリーズ	75.9 × 132 × 14.9 mm
LHD-PBHU2シリーズ	

インターフェースとして USB を採用していますので、ホットプラグ (パソコン本体の電源が ON になっている状態での取り付け・取り外し) が可能です。必要になったときだけパソコンに接続し、バックアップや大容量データの交換などの用途に最適です。



## 重要なご注意

---

- ・パソコン本体やインターフェースボード(カード)、USBハブの仕様によってはUSBの電源供給性能の問題からバスパワーで動作しない場合がございます。その場合は別売りの弊社製 AC アダプタ「LA-12W5S-02」または、USB 補助電源ケーブル「CB-USBPB-010」をご使用ください。
  - ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
  - ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
  - ・本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。
- 

## Point

### 本製品の型番について

---

本製品の型番末尾に(B)とあるのはボディーカラーがブラックであることを意味します。その他の仕様はまったく同一ですので、本書ではこの部分を省略して記載しています。

---



## ご注意

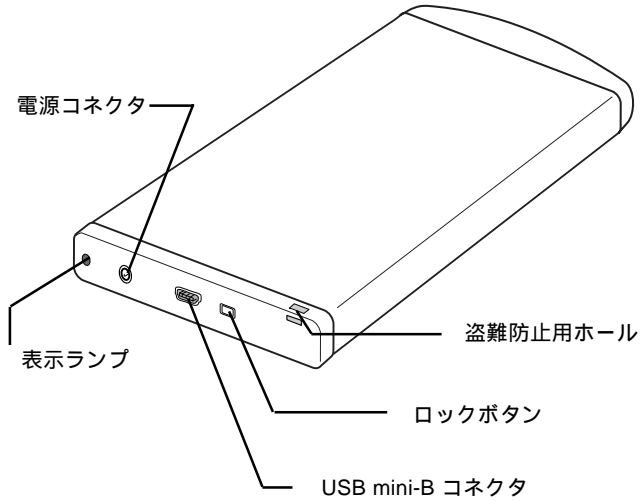
---

当社 DOS/V 対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

---

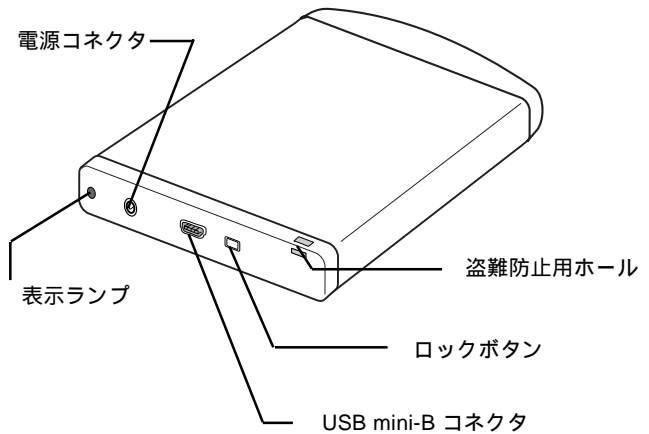
## 1.2 各部の名称と機能

### LHD-PBBU2 シリーズ、LHD-PBHU2 シリーズ



上の図は本製品を背面側から見たものです。

### LHD-PBMU2 シリーズ



上の図は本製品を背面側から見たものです。

### 電源コネクタ

バスパワーでの電源供給がうまく行かない場合、ここに別売りの AC アダプタまたは補助電源ケーブルを接続してください。本製品用の AC アダプタ、補助電源ケーブルは以下の型番で弊社より発売されております。

型番：	LA-12W5S-02	AC アダプタ
型番：	CB-USBPB-010	補助電源ケーブル

詳細は第 6 章をご参照ください。

### 表示ランプ

本製品に電源が供給されると緑色に点灯し、アクセスが行われるとオレンジ色に点滅します。

また、パスワードの設定時・入力時に、それぞれの状態を、緑色・赤色・オレンジ色の点灯・点滅で表します。詳しくは第 5 章をご参照ください。

### USBmini-B コネクタ

本製品を USB インターフェースに接続する場合に、付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートに接続します。本製品は、ここからバスパワーで電源の供給を受けます。

### ロックボタン

このボタンを使用してパスワードの設定・解除を行います。左側の表示ランプを確認しながら操作します。パスワードの設定については第 5 章をご参照ください。

### 盗難防止用ホール

盗難防止用にワイヤ等をつけておくことができます。



### ご注意

---

本製品には電源スイッチがありません。接続すると自動的に電源が供給されます。

---

## 1.3 使用環境について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のよう  
な環境条件を満たしていなくてはなりません。

### 対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパ  
ソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限  
定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン本  
体のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン	
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ	
アップルコンピュータ社	MacBook Pro	
	Mac mini	eMac
	iBook、	iBook G4
	iMac	iMac G5
	Power Mac G5	Power Mac G4
	Power Mac G4 Cube	
	Power Macintosh G3 (Blue and White)	
	PowerBook G4	PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 ( BronzeKeyboard )	

### 対応 OS について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の  
OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パ  
ソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional  
Windows Me  
Windows 98 (Second Edition 含む)  
Windows 2000 Professional

#### アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.0.4 以降  
Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2  
Mac OS 8.6

## 1 . 4 接続の前に

---

### 本製品の出荷時フォーマット形式についてのご注意

本製品は出荷時に DOS ( FAT32 ) 形式でフォーマットされていますので、Windows 環境でも Macintosh 環境でもアクセスすることができます ( Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 は除きます )。デジタルビデオ ( DV ) の動画ファイルなどのように巨大なファイルを異なる環境に移動したいときに便利ですが、なるべく各 OS に最適なフォーマット形式で再フォーマットすることをお勧めします。

本製品を Windows XP、2000 のみでご使用になる場合、NTFS 形式でフォーマットしてください。

本製品を Macintosh のみでご使用になる場合は、HFS+ ( Mac OS 拡張 ) で初期化してください。

その他の環境または、複数の OS でご使用になる場合は、DOS ( FAT32 ) のままご使用ください。ただし、以下の点にご注意ください。

DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh でアクセスするには Macintosh 標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。( Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 は未対応です。)

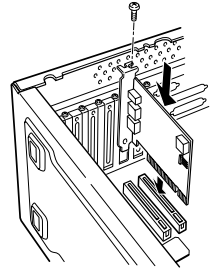
Macintosh 環境に接続したハードディスクを Windows 環境に再接続して、スキャンディスク ( Windows 標準の検査ユーティリティ ) を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」すると Macintosh 環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。

Windows / Macintosh 間でのデータ交換は、あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。MacOS 本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

## USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来の USB 1.1 と同様 Full-Speed（12Mbps）になります。）



USB 2.0インターフェイスボードは、以下の弊社から発売されているものをご使用ください。

### PCIバス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA- USB2VA	PCI	インターフェイスボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応

### CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM- CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

CardBus タイプの LPM-CBUSB2HA を使用して本製品を接続する場合、本製品側に別売りの AC アダプタまたは補助電源ケーブルを取付けておく必要があります。詳細は第 6 章をご参照ください。

### Point

#### ポイント

これらオプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitech-direct.jp>

# *Memo*

1



# 第2章 製品の使い方

本章では、本製品を接続と取り外し方法についてご説明いたします。

## 2.1 接続について

本製品の接続は以下の手順で行ってください。

### 確認事項

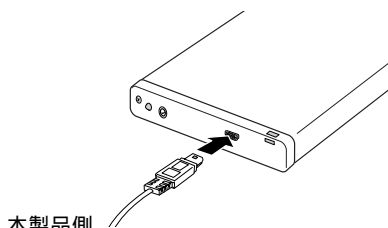
接続先のパソコンに USB 2.0 拡張ポートがある場合はそちらに接続してください。

USB 2.0 拡張ポートがない場合、USB 1.1 ポートへ接続してください。その場合の転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなります。

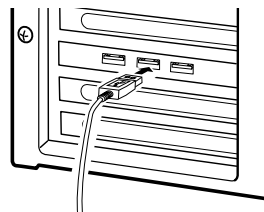
パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。このとき Windows XP ,2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてログオンしてください。

付属の USB ケーブルで本製品の USB mini- B コネクタと、パソコン側の USB ポートを接続してください。表示ランプが緑色に点灯します。以上で接続は終了です。

下のパソコンの図は DOS/V パソコンを元にしていますが、USB ポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンの USB ポートを確認して接続してください。)



本製品側  
小さいほうのコネクタ



パソコン本体側の例  
断面が平たいコネクタ

Windows XP, Me, 2000、Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2, Mac OS X 10.2 以降には本製品を USB インターフェースで使用するためのドライバが標準添付されています。そのため、本製品を接続すると自動的に電源が供給され、ドライバがインストールされます。結果を確認しますので「2.2 動作の確認」へお進みください。

Windows 98 の場合は、本製品付属のドライバをインストールする必要があります。「第3章ドライバのインストール方法」へお進みください。

Mac OS 8.6 をご使用で以下のようなメッセージが表示された場合も「第3章ドライバインストールの方法」を参照してドライバをインストールしてください。



Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の場合は本製品のフォーマットを行う必要があります。第4章の Mac OS X でのフォーマット手順をご参照ください。

## 2.2 動作の確認

接続が終了したら、本製品が正常に認識されているかを確認します。



### Windows XP の場合

「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリックします。マイコンピュータに左のようなハードディスクドライブのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。



### Windows Me , 98, 2000 の場合

デスクトップの「マイコンピュータ」のアイコンをクリックします。左のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。(アイコンに付く名前は OS により異なります。)



名称未設定

### Mac OS の場合

Mac OS 9.2.2まで

デスクトップに左のようなアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され使用可能な状態にあります。



Mac OS X 10.0.4  
以降

本製品は出荷時のフォーマット形式がDOSフォーマットとなっております。このフォーマット形式はWindowsとのデータ交換を行う場合には便利ですが、恒常的にMacintoshで本製品を使用する場合には適していません。本製品をMacintoshのみでご使用になる場合は、第4章をご参照の上、HFS+ (Mac OS 拡張) で初期化してください。

## 2.3 本製品の取り外しについて

本製品はホットプラグ（パソコンの電源がONの状態での取り付け、取り外し）が可能です。取り外しは以下の手順で行います。

### Point

ポイント

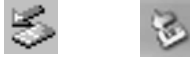
本製品は、仕様上、電源が供給されている間は内蔵のディスクが回転を続けますが、正しい手順で取り外しを行えば、問題ありません。

2

### Windows の場合

本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

タスクトレイ上の以下のアイコンをクリックします。



Windows 98 をご使用で上のアイコンが表示されない場合は、本製品のアイコンを右クリックしてください。

表示される以下の項目をクリックします。

Windows XP の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を安全に取り外します」

Windows Me の場合

- ・「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 98 の場合

- ・「\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\* を止める：ドライブ (d:)」

Windows 2000 の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を停止します」

**Point** ポイント

- ・ここで (d:) は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。
- ・また、Windows 98 で表示される「\*\*\*\*\*」には本製品内蔵の HD ドライブの型番が入ります。

Windows XPでは本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。(このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。)

Windows Me, 98, 2000 でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

USB ケーブルをパソコンから取り外します。

以上で取り外し作業は終了です。

## Macintosh の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- ・本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- ・本製品のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- ・本製品のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す。

パソコン本体がスリープ状態になっているときや本製品内に保存されたデータにアクセス中は、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USB ケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

# 第3章

# ドライバのインストール

## 3.1 Windows 98 の場合

接続が完了すると、本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が  
選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵のCD-ROMドライブに本製品付属の「LogitechWare」CD-ROMをセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェック  
された状態にして

2. ここに、半角英数字で以下のように  
入力して

D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

**Point**

ポイント

ここで「D:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「LogitechWare」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



ドライブ名

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。マイコンピュータに右のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。



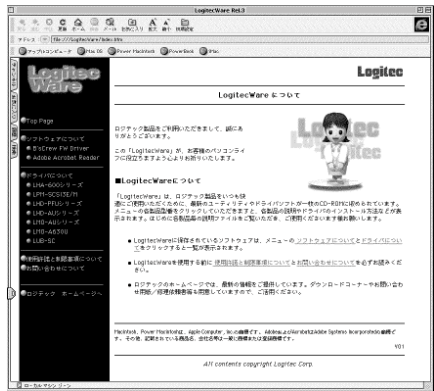
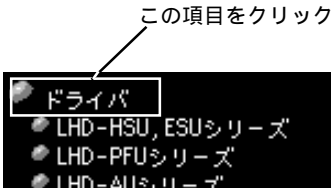
## 3.2 Mac OS 8.6 の場合

標準ドライバで認識されない場合はいったんコンピュータの電源を切り、本製品を取り外してから、以下の手順でUSBドライバのインストールを行ってください。

**本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。**

「Logitech Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

右のようなウィンドウがブラウザで表示されます。  
ここで左のメニューから、「ドライバ」をクリックしてください。

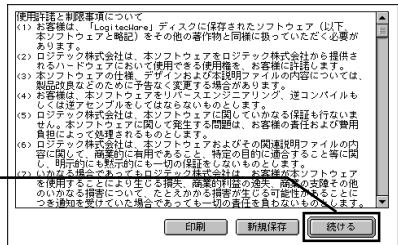


メニューの右側に、収録されたドライバの一覧が表示されます。これをスクロールして、「LHD-PBAU2,PBBU2,PBU2シリーズUSB ディスクドライバ」を探し、「ディスクドライバインストーラ」と書かれた部分をクリックしてください。



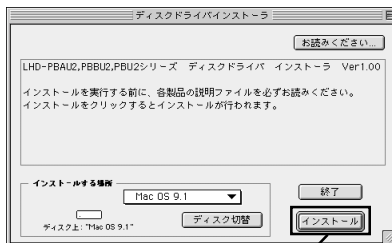
右のウィンドウが表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「続ける」をクリック



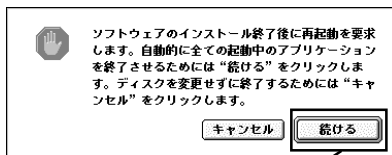
付属のフォーマッタをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障がない場合はそのままインストールをクリック



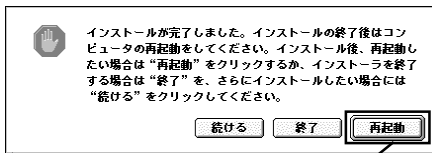
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認のメッセージが表示されます。

他のプログラムが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送され、終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック



以上でドライバのインストールは終了です。第2章を参照して本製品の接続を行ってください。



## 第 4 章

# ハードディスクの フォーマット

本章では、各 OS ごとにハードディスクのフォーマット手順をご説明いたします。フォーマットを行うと、ハードディスクの中のデータはすべて消去されます。重要なデータはあらかじめバックアップをとって置いてください。

### 4 . 1 Windows XP , 2000 でのフォーマット手順

Windows XP , 2000 では各 OS に標準のユーティリティ「ディスク管理」から行います。

ディスク管理を起動するには管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ)としてログオンした後、「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックしてください。(ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

「ディスク管理」からのフォーマット方法については Windows のヘルプファイルをご参照ください。

#### Point

#### ポイント

本製品付属の CD-ROM に保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。(下記のファイルをダブルクリックするとブラウザ上で内容を表示することができます。)

- ・ Windows XP [¥Docs¥Hdfmtxp.htm](#)
- ・ Windows 2000 [¥Docs¥Hdfmt2k.htm](#)

## 4 . 2 Windows Me , 98 でのフォーマット手順

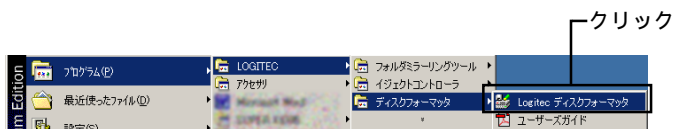
Windows Me、98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitec ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」「Logitec」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。（デフォルトの状態ですインストールした場合）



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

---

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマットの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

---

## 4 . 3 Mac OS Xでのフォーマット手順

---

### Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 で本製品をはじめて接続してフォーマットする場合

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の場合、本製品を初めて接続すると「今セットしたディスクは Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックしてください。

「Disk Utility」が起動します。

後の手順は Mac OS X のヘルプを参照して初期化を行ってください。

### Mac OS X 10.2 以降の場合

本製品は出荷時 DOS ( FAT32 ) 形式でフォーマットされていますので、接続後、下の「本製品を再フォーマットする場合」を参照して、Mac OS 拡張にて再フォーマットを行ってください。

4

Point

#### ポイント

---

Mac OS でフォーマット ( 初期化 ) する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

---

### 本製品を再フォーマットする場合

Mac OS X 10.1.5 までの場合、本製品を再フォーマットする場合も「Disk Utility」を使用します。「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。

Mac OS X 10.2 以降の場合は「ディスクユーティリティ」を使用します。「ディスクユーティリティ」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。(「2 . 2 動作の確認」参照)

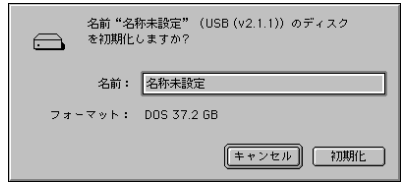
## 4 . 4 Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2でのフォーマット手順

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 では以下の手順でフォーマットを行います。

デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしてください。

右の画面が表示されますので、必要に応じて「名前」入力して「初期化」ボタンをクリックしてください。

フォーマット形式はDOSのままです。



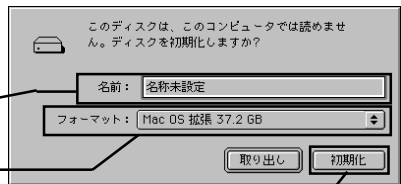
### フォーマット形式を変更する場合

「アップルメニュー」から「コントロールパネル」「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」してコンピュータを再起動してください。

パソコンが再起動すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。(下図参照)

ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、初期化ボタンをクリックします。

1. 名前を入力
2. 「Mac OS 拡張」を選択
3. 初期化をクリック



#### Point

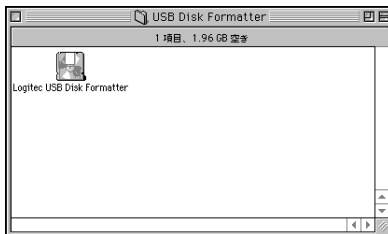
#### ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

## 4 . 5 Mac OS 8.6 でのフォーマット手順

Mac OS 8.6 の場合はドライバインストール時に同時にインストールされた「USB Disk formatter」を使用してフォーマットを行います。(Mac OS 8.6 を使用していても標準で認識された場合は「4 . 4 Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順」をご参照ください。

本製品を接続した状態で、ドライバインストール時に作成された「USB Disk Formatter」を開き、「Logitech USB Disk Formattet」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。

本製品は DOS フォーマットで出荷されているため、「フォーマット」の欄に「MS-DOS」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。

右下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

ボリュームに名前を付けたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を Mac OS 拡張にします。(推奨)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

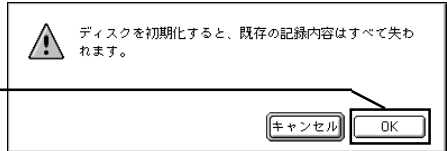
## Point

## ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンのMac OSと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

確認のメッセージが表示されません。

フォーマットしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。



以上で本製品のフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。



## 参考

フォーマッタのウィンドウで表示される「マウント」ボタン、「アンマウント」ボタンは、本製品を強制的にマウント、もしくはアンマウントするためのものです。

- ・何かの原因で、本製品を接続してもボリュームが自動的にマウントされない場合は、「マウント」ボタンをご使用ください。
- ・何かの原因で、通常的手段(次節参照)で本製品がアンマウントできなくなってしまった場合は、「アンマウント」ボタンをご使用ください。

# 第5章

# パスワードの設定

本製品にはパスワードロック機能がついています。パスワードを設定しておけば盗難や紛失時にハードディスクの中に保存されたデータの漏洩を防ぐことができます。

## パスワードロック機能の特徴

パスワードの設定および認証は、本製品背面のロックボタンで行いますので、特別なソフトウェアなどは必要ありません。ハードディスク自身がパスワード情報を保持しますので、例え分解されても、データを不正にコピーされることはありません。

パスワードを設定すれば、起動するたびにパスワードを入力しなければならぬため、設定を知らない人に使用される心配はありません。

パスワード設定時および設定後は表示ランプが状態に応じて以下のように変化します。

動作状態	表示ランプの色・状態
通常動作時	緑色・点灯
パスワード未設定時の電源投入後	
設定する新しいパスワードの入力待ち	オレンジ色・点灯
設定する新しいパスワードの入力中	オレンジ色・点滅
パスワード入力待ち	赤色・点灯
パスワード入力中	赤色・点灯
動作停止	消灯

5



### 重要なご注意

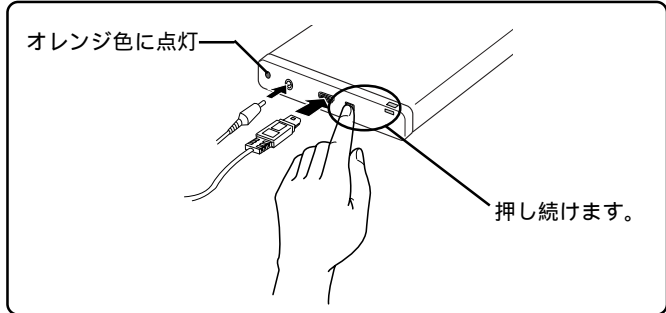
- ・本書巻末にはパスワード控え欄を用意してあります。この欄に設定したパスワードを書きとめるなどしてパスワードを忘れないようにしてください。**パスワードを忘れた場合、本製品に保存されているデータには一切アクセスできなくなります。**
- ・パスワード設定後、そのパスワードを入力して本製品にアクセスできるかを何回か確認してからご使用になられることをお勧めします。
- ・パスワードを忘れた場合、弊社でも工場出荷時に戻す以外の対応はいたしかねます。その場合ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されますので十分にご注意ください。

パスワードを設定しない場合は通常のHDとしてご使用いただけます。



## パスワードを新規に設定する方法

背面のロックボタンを押しながら、USB ケーブルを接続するか、AC アダプタを接続して本製品の電源を入れてください。表示ランプがオレンジ色に点灯します。



アクセス表示ランプがオレンジ色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

次に、パスワードを入力します。


パスワードは1～9までの数字を1～4桁までの範囲で設定します。

例) パスワードを「5、3、2、3」と設定する場合、

- 1) ロックボタンを押すとアクセス表示ランプが点滅をはじめるので、この点滅中に、5回ロックボタンを押してください。

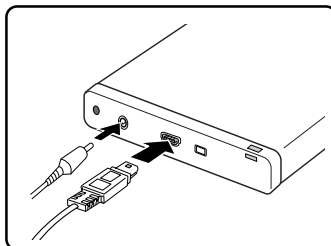
**点滅中に5回連続してすばやく押してください。間隔を置いて5回押すと、「1,1,1,1,1」と認識してしまい、本製品の電源がOFFになります。(パスワードは設定されません)**

- 2) 数秒時間をおいて、アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯したら、同じようにロックボタンを3回すばやく押してください。
- 3) 同様の手順で2、3と設定を行ってください。
- 4) 最後に設定を確定させるため2秒以上ボタンを押し続けます。アクセス表示ランプが緑色に点灯したらパスワードの設定は完了です。

<p>「5、3、2、3」の場合のボタンの押し方</p>	 <p>5回押す.....3回押す.....2回押す.....3回押す.....長押し</p>
<p>設定中のアクセス表示ランプの変化について</p>	<p><b>パスワード入力中はアクセス表示ランプがオレンジ色に点滅、入力待ちの状態のときはオレンジ色に点灯します。設定中はこの点滅と点灯が繰り返されます。最後に2秒以上ボタンを押し続けると緑色に点灯し、設定が完了します。</b></p> <p>点滅はボタンを押した回数とは関係がありません。押した回数は設定した本人しか分からないようになっていきますので忘れないようにしてください。</p>

## パスワードを設定後に本製品を使用する場合

USBケーブルを接続するか、ACアダプタを接続して本製品の電源を入れてください。



表示ランプが赤色に点灯します。

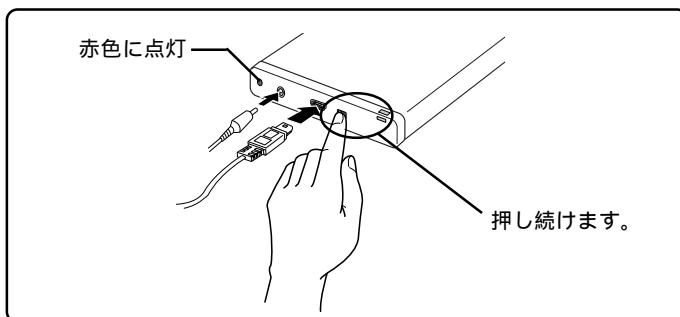
設定したパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

表示ランプが緑色に点灯します。これでハードディスクが使用可能な状態になります。

パスワードを誤って入力した場合は表示ランプが消灯します。その場合は、いったんUSBケーブルまたはACアダプタを外して電源を切り、再度電源を入れて正しいパスワードを入力してください。

## パスワードを変更する

背面のロックボタンを押しながら、USBケーブルを接続するか、ACアダプタを接続して本製品の電源を入れてください。表示ランプが赤色に点灯します。



表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

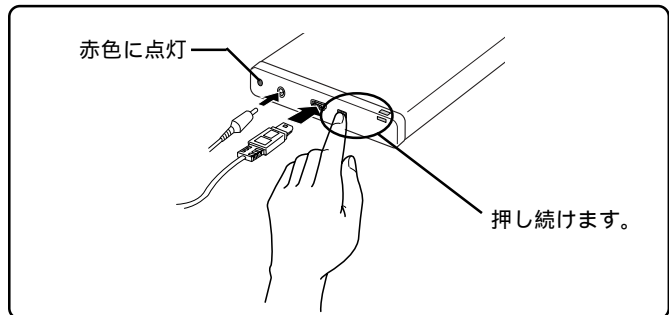
既に設定されているパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

表示ランプがオレンジ色に点灯します。

この後は「パスワードを新規に設定する方法」の手順と同じように新しいパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しして設定を確定させます。表示ランプが緑色に変化したら新しいパスワードが設定されます。

## パスワードを無効にする

背面のロックボタンを押しながら、USBケーブルを接続するか、ACアダプタを接続して本製品の電源を入れてください。表示ランプが赤色に点灯します。



表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

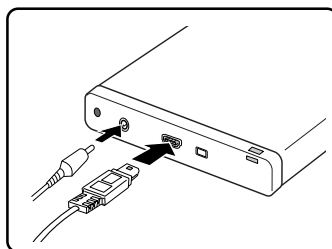
設定したパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

表示ランプがオレンジ色に点灯したら、いったんボタンから指を離し、再度ロックボタンを長押しします。表示ランプが緑色に点灯したら、パスワードが消去されます。

## パスワードを忘れた場合は...

パスワードを忘れた場合は、以下の方法で設定したパスワードを解除することができます。ただし、解除と同時にハードディスクも再フォーマットされ工場出荷時の状態に戻ります。**ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されてしまいますので、取扱いには十分ご注意ください。**

USBケーブルを接続するか、ACアダプタを接続して本製品の電源を入れてください。



表示ランプが赤色に点灯します。

ここでパスワードを「10、10、10、10」と入力します。入力中は表示ランプが赤色に点滅します。

入力後赤色に点灯したことを確認後、入力したパスワードを決定するために、ロックボタンを長押しします。表示ランプが赤色に点滅し、2秒以上経過すると赤色に点灯します。点灯後いったんボタンから指を離してください。

再度ロックボタンを長押しします。表示ランプが赤色に点滅し、2秒以上経過するとオレンジ色に点灯します。点灯後、ボタンから指を離します。

パスワードが消去され、ハードディスクが初期化されます。終了すると、表示ランプが緑色に点灯します。

以上でパスワードの解除は終了です。

# 第 6 章 補足事項

## 6 . 1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？

本製品をUSBハブ経由で接続している場合は、パソコンのUSBポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。

パソコンやUSB 2.0のインターフェースボード・インターフェースカードの仕様によってはバスパワーで十分な電力を供給できない場合がございます。バスパワーでの電源供給がうまく行かない場合、別売りのACアダプタを本製品背面の電源コネクタへ接続してください。

ACアダプタを使用した場合の本製品の接続については、次の「6 . 2 ACアダプタを使用する際の注意点」「6 . 3 USB補助電源ケーブルを使用する際の注意点」をご参照ください。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット（通常のフォーマット）のみでご使用ください。

Windows XP , 2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つグループ（例えば「Administrators」グループ）のメンバーとしてログオンしていなければなりません。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

本製品の電源を入れると表示ランプが赤く点灯し、  
認識されない。

パスワードロック機能により、ロックされています。正しいパスワードを入力して解除してください。

パスワードが不明な場合は本書 34 ページ「パスワードを忘れた場合は…」を参照して、パスワードの消去をしてください。この場合、ハードディスク内部のデータは全て失われます。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で  
本製品を使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、USBのようなホットプラグ対応のインターフェースで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせて、そのソフトウェアがUSB接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

Macintosh 環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

- Logitech USB-2F Shim
- Logitech USB-2F Driver

データの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード(PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB 2.0インターフェイスカード)を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

その他：弊社ホームページについて

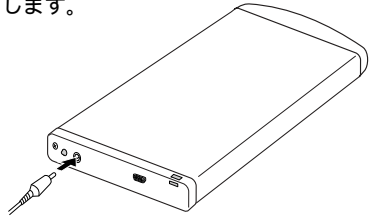
弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF 形式でダウンロード可能になっていますのでご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

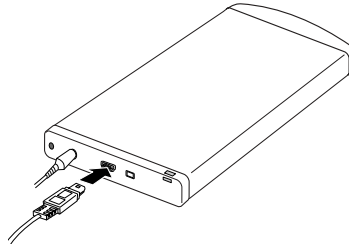
## 6.2 ACアダプタを使用する際の注意点

ACアダプタを使用する場合は、必ずUSBケーブルを接続する前に本製品にACアダプタを接続し電源を供給してから、USBケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

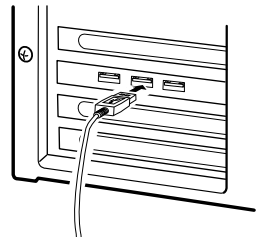
はじめにACアダプタを接続します。



付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続します。



本製品側  
小さいコネクタ



パソコン側  
大きいコネクタ

本製品用のACアダプタは以下の型番で弊社より販売されております。

型番： LA-12W5S-02



### ご注意

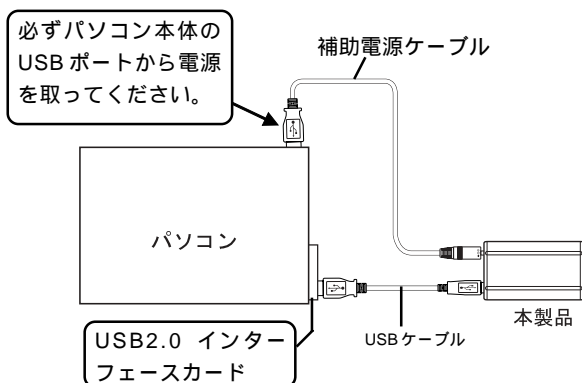
セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中のACアダプタの抜き差しは絶対行わないで下さい。不要なりセットや動作異常を招き、データを消失する危険性があります。

## 6.3 USB補助電源ケーブルを使用する際の注意点

USB補助電源ケーブルを使用する場合は、下図のように接続してご使用ください。接続の際は必ずUSBケーブルを接続する前に、本製品またはUSB 2.0インターフェースカード側にUSB補助電源ケーブルを接続してから、USBケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

### 使用例 1 :

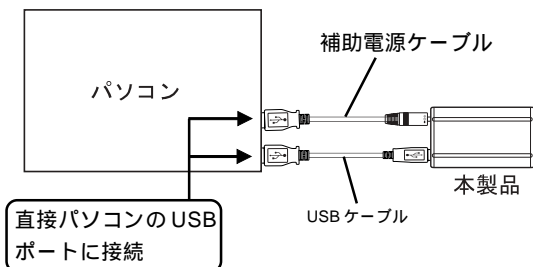
CardBus対応のUSB 2.0インターフェースカードでバスパワー対応機器を使用する。



補助電源ケーブルのDCプラグはバスパワー対応機器（本製品）側に接続してください。

### 使用例 2 :

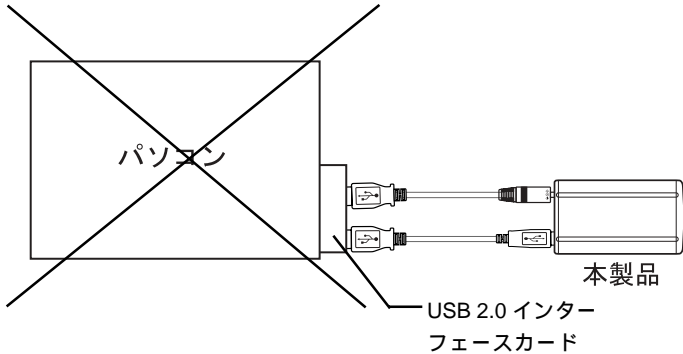
電源供給能力の低いUSBポートでバスパワー対応機器を使用する





## ⚠ 注意事項

CardBus対応のUSB 2.0インターフェースカードのUSBポートに本ケーブルを接続し、本ケーブルのDCプラグをバスパワー対応機器に接続するのはお止めください。十分な電源供給を受けられません。



このように接続してはいけません！

## ⚠ 注意事項

パソコンによっては、バッテリー駆動時にUSBバスパワーの供給を行わない機種があり、本ケーブルを使用できない場合があります。

その場合は別途ACアダプタをご使用ください。

本製品用のUSB補助電源ケーブルは以下の型番で弊社より発売されております。

型番 : CB-USBPB-010



### ご注意

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中のACアダプタの抜き差しは絶対行わないで下さい。不要なりセットや動作異常を招き、データを消失する危険性があります。

## パスワード控え欄

設定したパスワードを忘れると、ハードディスクに保存したデータにアクセスできなくなります。この欄にパスワードを書きとめて忘れないようにしてください。

### パスワード

--	--	--	--

パスワードを忘れた場合は、パスワードを解除することにより再度本製品にアクセスできるようになります。ただし、**パスワードを解除する際、ハードディスクは再フォーマットされ保存されているすべてのデータは消去されます**のでご注意ください。詳しくは「第5章 パスワードの設定」の「パスワードを忘れた場合は…」をご参照ください。

## 保証と修理について

---

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

### サービスを依頼される場合

修理品については、弊社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。

故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）

## オンラインユーザー登録について

---

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。

L-site <http://www.logitech.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

## 個人情報の取り扱いについて

---

ユーザー登録・修理依頼・製品に関するお問い合わせなどでご提供いただいたお客様の個人情報は、修理品やアフターサポートに関するお問い合わせ、製品およびサービスの品質向上・アンケート調査等、これらの目的の為に関連会社または業務提携先に提供する場合、司法機関・行政機関から法的義務を伴う開示請求を受けた場合を除き、お客様の同意なく第三者への開示はいたしません。お客様の個人情報は細心の注意を払って管理いたしますのでご安心ください。

## サポート / 修理受付窓口のご案内

---

### 製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。  
FAXにてお問い合わせの場合は、お客様のご連絡先を必ずご記入ください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称 / シリアル番号

弊社テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

TEL. 0570-022-022      FAX. 0570-033-034

受付時間               : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

### 弊社へ修理品を発送される場合の送付先・注意事項

郵送または宅配便にて修理依頼される場合、以下の点をご確認の上、弊社修理受付窓口まで製品をご送付ください。

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所 / 電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りへの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

### 弊社修理受付窓口（修理品送付先）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 修理サポートセンター（3番受付窓口）

TEL：0265-74-1423      FAX：0265-74-1403

受付時間：9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

月曜日～金曜日（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

上記電話番号では、修理依頼品や各種サービス（ ）等に関するお問い合わせ以外は承っておりません。製品に関する技術的なお問い合わせや修理が必要かどうかについてのお問い合わせは、弊社テクニカルサポートにお願いいたします。

データ消去サービスやオンサイト保守サービス、ピックアップサービス等の各種サービスを指します。これらのサービスは対象製品が限定されています。また、有償の場合や対象期間内無償の場合など、内容は異なります。詳しくは弊社Webサイトをご参照ください。

弊社Webサイトでは、修理に関するご説明やお願いを掲載しています。修理依頼書のダウンロードも可能です。

お送りいただいた控えがお手元に残る方法でお送りいたしますよう、お願いいたします。

Logitech HDユニット・ユーザーズマニュアル

2006年

3月改訂

LHD-PBBU2 V04

製造元：ロジテック株式会社

---

